

令和4年度第41回沖縄県支部通常総会報告

令和5年5月21日コロナ禍からぬけ、4年ぶりの対面での総会を持つことができました。午前11時から午後2時まで、パシフィックホテル沖縄において日本心臓ペースメーカー友の会沖縄県支部第40回通常総会が開催されました。当日は本部から戸川会長が遠路はるばるおいでになり、ご都合で沖縄県の顧問医の参加がなく、会員18人、家族4人、全員で23人のささやかな集いでした。

第1部 総会

司会 宮城 吉通

始めに、3年余の中で、亡くなられた会員の皆様への黙禱、中でも長きに役員を担った上原初子さんへの感謝の意が捧げられました。また総会開催にあたり本部から、お祝い金が戸川会長に託され、報告がありました。その後支部長挨拶があり、昨年より取り組んだ40周年記念誌の出来上りを報告しました。続きまして戸川達男会長よりご丁寧なご挨拶がありました。



それから議案審議と移りました。

議案審議は1号議案（令和4年活動報告）から6号議案（令和5年度収支予算案）が審議され可決されました。4号議案役員選任の部では、コロナ禍で減少した会員の件、役員の高齢化と体調不良、現役の役員の仕事との両立の難しさなど、来年3月までの任期は続けますが、秋の集まりまで、もし新しい役員の台頭がなければ、友の会沖縄県支部の休会をお願いしたいとの役員会の提案をしました。

昼食・懇親会 少ない人数ながら、和気藹々楽しい雰囲気です。4年ぶりの顔合せを喜びました。

「空手演舞」 八木副支部長のお孫さん5人の空手演舞がお父さまの解説で披露されました。素晴らしかったです。

第2部 「語ろう会」

司会 平井支部長

顧問医の急な用事で予定された研修会ができなくなり、役員、戸川会長の提案で、少人数での語り合いはまた良き機会と捉え、戸川会長と顧問医を囲んでの「語ろう会」になりました。そこでも顧問医鈴木先生が他の行事で来られなくなり、戸川会長にご迷惑をおかけしました。戸川会長のお話の中で、支部だより44号のなかの「地名あれこれ・どうぶつが発見した泉」のお話があり、貴重な記事が載せられる支部活動をほめていただきました。それは会長の会活動が続けてもらいたいという優しいメッセージと受け止めています。短い時間の中で「かていてる」がいまの自分の愛読書と話す会員、会員をグループネットワークにしたらとの意見もありました。23人という少ない集まりながら、4年ぶりの対面での総会は和やかな雰囲気で終わりました。

